


議員派遣報告書

会 派 名	新風新政会
参加議員	宇佐美 誠
日 程	令和 5 年 8 月 7 日(月)～8 日(火) ※台風の影響で世界大会の閉会総会が 8 日(火)に前倒しとなった。
内 容	原水爆禁止 2023 年世界大会
派遣詳細【1 日目】	
派遣項目	原水爆禁止 2023 年世界大会 開会総会
派遣内容	<p>長崎市民会館体育館において、開会総会が開催された。開会総会では、オーストリアやメキシコの政府代表のあいさつのほか、アメリカ、イギリス、フィンランド、ウクライナ、韓国の海外参加者からの報告がなされた。</p> <p>また、全国を通じて平和行進に参加した方や大学生参加者からの特別発言もあり、世代や地域を超えた核兵器廃絶への強い願いを感じることができた。</p>
主な質疑応答	-
市への提言 または要望	-
研修詳細【2 日目】	
派遣項目	原水爆禁止 2023 年世界大会 分科会 原爆資料館、平和記念公園および爆心地公園視察 同 閉会総会
派遣内容	<p>分科会では、11 の分科会があり、長崎市民会館体育館を会場にした「分科会 6 青年のひろば」に参加した。この分科会は、若者たちが被爆者2名の体験談を聞き、また、アメリカからの高校生2名と意見交換を行っていた。これから生きていく青年層が平和について考える貴重な機会であった。</p> <p>分科会後、時間があつたため、原爆資料館、平和記念公園および爆心地公園を視察した。実際に建物の被害跡や資料館での当時の写真、映像等を目の当たりにし、核兵器の脅威、突然に日常が奪い去られる恐怖感等を感じた。</p> <p>なお、閉会総会は、予定では 8 月 9 日(水)に開催予定であったが、台風 6 号の影響で一日前倒しになり、分科会と同会場にて同日開催された。</p> <p>二日間を通して感じたこととしては、世界各地で平和運動をされている方々の発言であったり、日本各地の大学生たちがグループで参加していたりと、多様な参加者がいた。唯一の被爆国である日本だからこそ伝えられる、伝えなければならない現実を国内外、世代を問わず伝えられる時間であったと感じる。また、青年層に、被爆の歴史を紡いでいく意義のある機会であるとも感じた。</p>



	
<p>主な質疑応答</p>	<p>-</p>
<p>市への提言 または要望</p>	<p>-</p>